環境経営レポート

対象期間：2025年4月～2026年3月
2025年度（令和７年度）



栃山川自然生態観察公園

「サギと椿の競演」
令和７年度第19回公園フォトコンテスト　理事長賞作品

発行年月日：2026年　5月　20日

焼津環境緑化事業協同組合

目次

Ⅰ．組織の概要 ・・・P1

Ⅱ．実施体制 ・・・P2

Ⅲ．環境経営方針 ・・・P3

Ⅳ．環境経営目標 ・・・P4

Ⅴ．環境経営目標と実績 ・・・P5

Ⅵ．環境経営計画と実績 ・・・P6

Ⅶ．次年度の取組内容 ・・・P7

Ⅷ．環境関連法規などの遵守状況確認
及び評価結果並びに違反、訴訟の有無 ・・・P8

Ⅸ．当社の取組 ・・・P9

Ⅹ．代表者による全体評価と見直し
及び指示の結果 ・・・P10

Ⅰ　組織の概要

１．事業者名及び代表者名

焼津環境緑化事業協同組合（焼津市都市公園指定管理者）

理事長　村田　昌弘

２．所在地

名称	所在地	延床面積	備考
組合事務所	静岡県焼津市本町二丁目１３番２９号	49㎡	

３．環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者　　寺尾　　ＴＥＬ：０５４－９０２－１４３７
E-mail：green-team@ab.thn.ne.jp

事務担当者　　小池

４．事業活動

焼津市都市公園指定管理者として、都市公園の管理運営業務活動
（契約期間　令和４年４月１日～令和９年３月３１日までの５年間）

５．事業規模

項目	2026年3月31日現在
売上高	181,021,000円
従業員数	8名

６．事業年度

４月１日から翌年の３月３１日までの期間

７．認証・登録の対象範囲

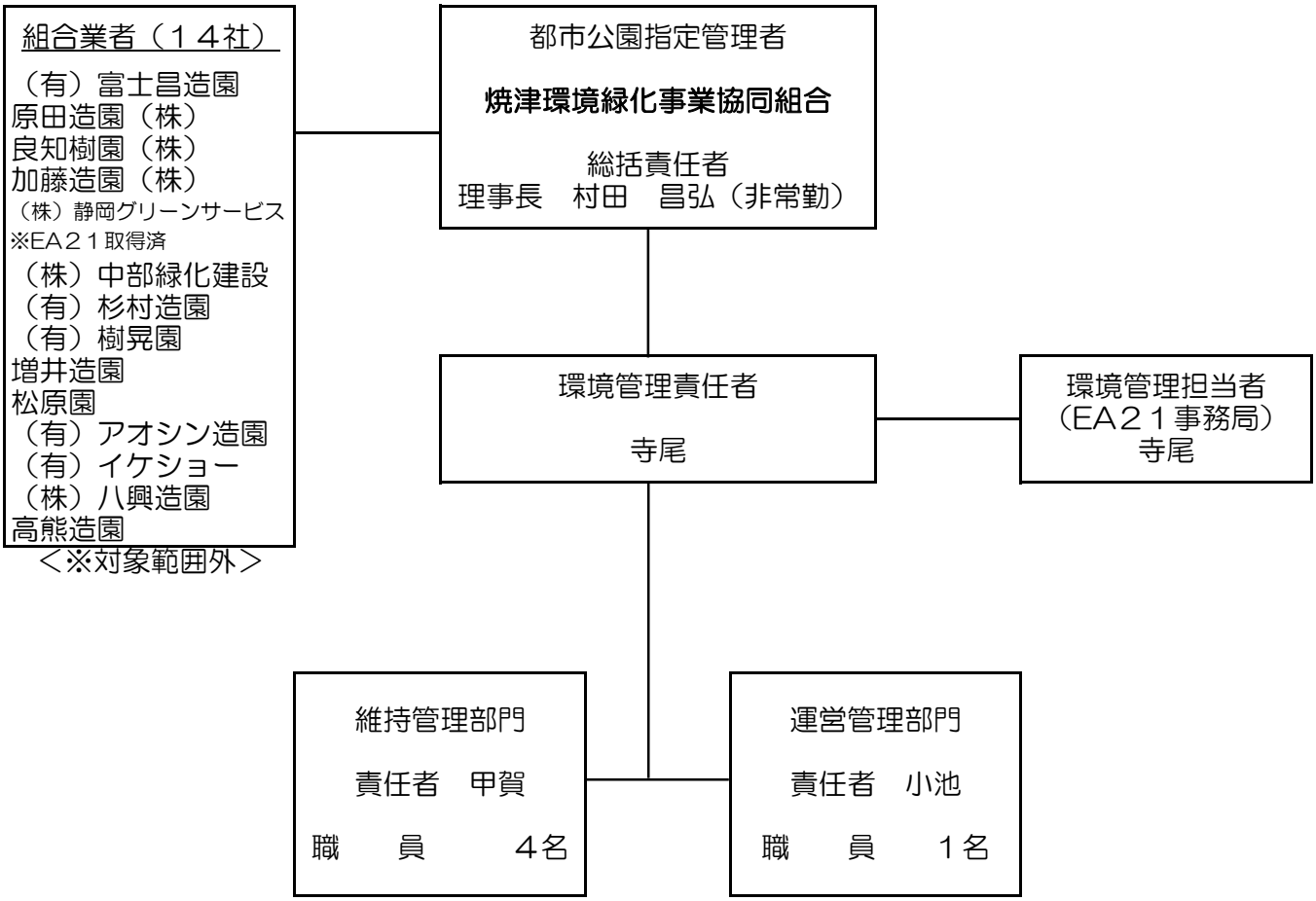
全組織・全活動を対象とする

対象サイト：組合事務所

組織の活動内容：都市公園施設の維持管理及び運営管理

Ⅱ　実　施　体　制

2025年度体制



＜関係者の権限と役割＞

総括責任者

① 環境経営全般に関する責任と権限
② 環境経営に必要な資源の準備
③ 環境経営における課題とリスクとチャンスを整理し明確にする
④ 環境経営システムの評価と見直し
⑤ 環境管理責任者の任命
⑥ 環境方針の制定及び改定

環境管理責任者・環境管理担当者（EA２１事務局）

① 環境経営システム全般の運用・管理
② 環境目標及び環境活動計画の作成
③ 取組状況の理事長への報告
④ 環境経営レポートの作成
⑤ 法規制最新版管理
⑥ 文書・記録の管理

各部門

① 部門データの集計
② 問題点の把握と是正の実施
③ 従業員教育
④ 環境目標及び環境活動計画の実行

Ⅲ　環境経営方針

焼津環境緑化事業協同組合　　環境経営方針

【環境理念】

焼津環境緑化事業協同組合は、焼津市都市公園の指定管理者として、都市公園の持つ役割・機能を十分に理解し、焼津市民のニーズに可能な限り耳を傾け、市民とともに「安全で快適な公園作り・環境に配慮した管理運営」を通じ、市民福祉の増進と生活文化の向上に貢献する。

【基本方針】

当組合は、環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的改善経営を展開します。

１．二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減
　１）電気、ガソリンなどの使用量削減に努めます
　２）３R活動の展開による廃棄物の削減に努めます
　３）節水活動による水使用量の削減に努めます

２．環境関連法規制の遵守
　環境関連法規制を遵守します

３．環境に配慮した活動
　１）都市公園の安全で快適な管理運営に努めます
　２）組合員の環境教育に努めます

４．環境コミュニケーションの実施
　１）社外に環境経営レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図っていきます
　２）社内では、全従業員に環境方針を周知し、全社員参画による取組を目指します
　３）組合員同士のコミュニケーション強化を目指します

制定日　　2015年12月1日

改訂日　　2020年7月15日

焼津環境緑化事業協同組合

理事長　　村田　昌弘

Ⅳ　環境経営目標

短期・中長期環境経営目標

環境経営目標は、2022年度を基準年とした基準年比とする。(2024年度より)

項　　目		単位	2022年度（基準年）	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	8,897	-1.1%	-1.2%	-1.3%
				8,799	8,790	8,781
	電　　力	kwh	4,520	-1.1%	-1.2%	-1.3%
				4,470	4,466	4,461
	ガソリン	L	2,782	-1.1%	-1.2%	-1.3%
				2,751	2,749	2,746
廃棄物排出量	一般廃棄物（燃やすゴミ）	ｋｇ	58.7	-1.1%	-1.2%	-1.3%
				58.1	58.0	57.9
水使用量（事務所+全公園）		m^3	10,243	-1.1%	-1.2%	-1.3%
				10,130	10,120	10,110
公園利用者満足度		不具合の早期発見件数	919	10.0%	15.0%	20.0%
				1011	1057	1103

（注）

1）「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、ハルエネの調整後排出係数
「0.376kg-CO2/kwh」を使用した。

2）水使用量は、2024年度123公園（135箇所)と事務所を対象とした活動とした。

Ⅴ　環境経営目標と実績

短期環境経営目標と実績

環境経営目標は、2022年度を基準年とした基準年比とする。

項　　目		単位	基準年実績 2022年度	環境経営目標 2025年度	活動実績 2025年度	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO_2	8,897	-1.1%	-7.2%	○
				8,799	8,258	
	電　　力	kwh	4,520	-1.1%	3.5%	×
				4,470	4,677	
	ガソリン	L	2,782	-1.1%	0.7%	×
				2,751	2,801	
廃棄物排出量	一般廃棄物 （燃やすゴミ）	ｋｇ	58.7	-1.1%	-2%	○
				58.1	57.3	
水使用量（事務所+全公園）		m^3	10,243	-1.1%	6%	×
				10,130	10,808	
公園利用者満足度		不具合の早期発見件数	919	10%	-21%	×
				1011	726	

（注）

1）「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、2025年度よりハルエネの調整後排出係数「0.376kg-CO2/kwh」を使用した。

評価の内容

二酸化炭素排出量	職員一同エコアクション21の理念を遵守し懸命に取り組んだ。 また2025年度より購入電力の二酸化炭素排出係数をハルエネに変更した。
電力	照明器具を消灯したりエアコンの使用を控えたりしたが目標を達成できなかった。
ガソリン	法定速度を遵守しエコドライブに心掛けたが夏場のエアコン使用による燃費悪化の影響が大きい。
廃棄物排出量	ゴミ出しルールを遵守し仕分けを徹底することで3R活動を展開し排出量の縮減を図った。
水使用量	巡回パトロール時に量水器を点検し早期に漏水の有無を確認している。
公園利用者満足度	公園を安心・安全に利用していただくために予防保全の取組みを実践し満足度向上を図っている。

Ⅵ　環境経営計画と実績

（取組期間：2025年4月～2026年3月）

環境活動項目（2025年度）			責任者	評価	コメント
二酸化炭素の削減	エコドライブ（運転管理等）	A.不必要なアイドリングの禁止	甲賀	○	・年度比較で全車平均燃費はR6年度は12.12km/Ｌ、R7年度は12.17km/Ｌとなり差異はないが夏場のエアコン使用による影響が大きい。 ・今後も最適なパトロールコース設定と不要積載物の除去などの対策を徹底し、燃費向上を図っていく。
		B.不要な荷物を積まない		○	
		C.急発進・急加速の禁止		○	
		D.効率的なパトロールコース設定		○	
		E.早めにシフト		○	
		F.運転週報の記載（走行距離、給油量等）		○	
		G.低冷暖房運転の励行		△	
	照明・空調等	A.人が居ない時の消灯	小池	△	・人がいないときの消灯をどう習慣づけるかが、全員で話し合いルール化していく必要がある。
		B.人が居ない時のエアコン停止		○	
		C.エアコンA、夏季24℃、冬季24℃		○	
		D.エアコンB、夏季28℃、冬季20℃	寺尾	○	
		E.空調フィルタ清掃（夏冬年2回）		○	
廃棄物の削減	プラごみと一般廃棄物の分別		小池	○	・市のゴミ出しルールに基づき運営されており、今後も継続していく。
	コピー用紙の両面使用			○	
	封筒などの再利用			○	
水使用量削減	水漏れ点検の実施		甲賀	○	・量水器チェックでの早期発見は有効であると判断する。
	節水コマの設置			○	
	量水器点検実施			○	
公園利用者満足度	不具合の早期発見と対応		寺尾	○	・早期発見と対応は、公園利用者の安全につながりますので、今後も継続していく。
	公園別発生件数のグラフ化			○	
	「らくらく通報公園くん」の活用促進			○	
コミュニケーション	組合員同士のコミュニュケーション		小池 甲賀 山本 寺尾	○	・LINE WARKS並びにLINEを活用し、情報等の共有化を実施 ・朝礼による情報の共有化
	内部環境コミュニュケーション(教育)			○	
	HP活用の外部コミュニュケーション			○	

Ⅶ　次年度の取組内容

（取組期間：2025年4月～2026年3月）

環境活動項目（2026年度）			責任者	実施時期	コメント
二酸化炭素の削減	エコドライブ	不必要なアイドリングの禁止	甲賀	通年	・エコドライブの考え方が理解されているので、前年度同様の取り組みを進める。
		不要な荷物を積まない		通年	
		効率的なパトロールコース設定		随時	
		運転週報の記載（走行距離、給油量等）		給油時報告	
	照明・空調等	人が居ない時の消灯	小池	随時	・パトロール員の再教育を実施する。
		人が居ない時のエアコン停止		随時	
		空調フィルタ清掃（夏冬年2回）	寺尾	5月・11月	・期日を定め実施する。
廃棄物の削減	プラごみと一般廃棄物の分別		小池	通年	・「どこでもキャビネット」の活用でコピー用紙の削減を推進する。
	コピー用紙の両面使用			通年	
	ペーパータオルの削減検討			随時	
水使用量削減	量水器の点検		甲賀	随時	・量水器点検効果より、平成２２年以前の公園を週1回の点検で進める。
	使用量増への連絡体制強化			随時	・異常時発見時の連絡体制確立。
公園利用者満足度	不具合の早期発見と対応		寺尾	通年	・公園利用アンケート調査結果等に基づく多様なニーズに即した管理運営を進める。
	公園別発生件数のグラフ化			毎月報告	
	「らくらく通報公園くん」の活用促進			通年	
コミュニケーション	組合員同士のコミュニュケーション		小池 甲賀 山本 寺尾	随時	・LINE WARKS並びにLINEを活用し、情報の共有化を実施。
	内部環境コミュニュケーション			随時	・朝礼による情報共有化
	HP活用の外部コミュニュケーション			随時	・公園情報の外部発信

Ⅷ　環境関連法規などの遵守状況確認及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

１．環境関連法規等の遵守状況

当組合に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日　2026年　3月　31日

評価者　環境管理責任者　寺尾

法律・条例	遵守事項、規制基準	当社の適応及び対応	遵守評価
焼津市都市公園条例	指定管理者が管理を行う場合の取扱い	市条例の遵守	○
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物・産業廃棄物の処理	産業廃棄物管理票により適正に処理した	○
特定家庭用機器再商品化法	指定家電の廃棄時	リサイクル料金の支払い（廃棄時）	廃棄無し
使用済自動車の再資源化等に関する法律	自動車の廃車時	リサイクル料金の支払い（廃車時）	廃棄無し
資源の有効な利用の促進に関する法律	適正廃棄	パソコン、二次電池廃棄時	廃棄無し
下水道法	維持管理基準の遵守	※公共下水道にて処理	○
消防法	火災予防	消火設備の定期点検	○
浄化槽法	条例10条、11条	浄化槽保守点検、水質検査	○
フロン排出抑制法	業務エアコンの廃棄時 フロン回収業者への引き渡し 簡易点検の実施	当組合では業務用エアコンは保有していません	該当なし

２．違反、訴訟等の有無

当組合に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの苦情や訴訟は過去３年間ありません。

Ⅸ　当社の取組

公園利用者の満足度向上につながる取り組み



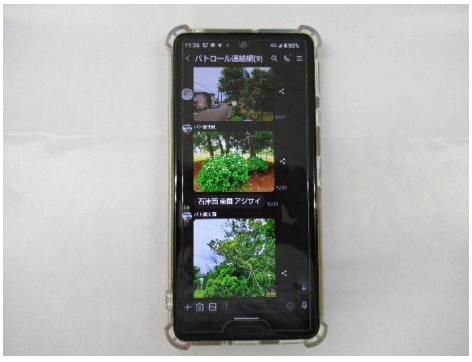


らくらく通報公園くん
令和5年12月より開始された「らくらく通報公園くん」により公園に係る様々な事案事象等の状況が見える化されたことで、時間的ロスが軽減され状況等の把握が容易となり迅速で的確な公園の運営維持管理が図られることとなった。このため市との報連相を密にし、齟齬が生じないよう効果的な公園管理が実践でき、管理業務の効率化と市民満足度の向上につながっている。

LINEWARKSによる情報共有化



LINEによる情報共有化



Ⅹ　代表者による全体評価と見直・指示の結果

2025年4月から2026年3月まで1年間の取組について、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況などについて評価しました。

本年度の環境目標は2022年度を基準年とし取組みましたが電力量・ガソリン量は達成できませんでした。
事務所の電力使用量は、夏場と冬場に未達成となっており、エアコン使用に頼らない工夫が必要と考えます。
また、ガソリン使用量は夏場のエアコン使用による影響が大きいと思われ課題として認識しています。
水道使用量も夏季の噴水稼働や水遊び、散水等に伴う使用量が増加したため目標を達成できませんでした。
公園利用者増によるゴミ散乱・トイレ用ペーパー補充など不具合箇所の早期発見に努めたことは評価できますがゴミ回収・ペーパー補充等は、公園利用者の快適な利用のためにも十分な対応をお願いします。
なお、これまで公園利用者の満足度を図る目安として不具合箇所の発見件数向上を目標値としてきましたが最近の状況を考察すると、日々の巡回パトロール員による点検チェックで、不具合箇所が減少傾向となってきていることから、満足度の評価をどのように図ったら良いのか項目の検討が必要と考えます。
今後も、更なる環境意識の醸成により環境目標の達成に尽力するよう引き続きお願いします。

2026年5月20日

焼津環境緑化事業協同組合

理事長　村田　昌弘

見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1.環境経営方針	有・(無)	
2.環境経営目標	(有)・無	公園利用者の満足度評価について評価項目の検討が必要
3.環境経営計画	有・(無)	
4.環境に関する組織（実施体制含む）	有・(無)	
5.その他システム変更	有・(無)	
6.その他（外部への対応）	有・(無)	